

# 親子聖書日課

NO.1591 2019.3/24-30 名前

[日]町を救ったのは一人の知恵ある女性で、平和を愛するこの女性の知恵とは、問題の原因が何かを見極めて、それを取り除くことでした。現代社会も問題が山積しています。神は名もない知恵ある女性を、私達のうちにも求めています。

[月]「神はこの国の祈りに答えられた」とは、「飢餓から救われた」とのご利益的な祈りではありません。サウル家の罪が裁かれることにより、民全体が身を引くし、心を主に向けたのです。悔い改めがあったからこそ、祈りは聞かれたのです。

[火]ダビデにとって、神は「岩、砦、力、救いの盾、救いの角、避け所、ともし火」でした。ダビデがどんなに罪深くて、主は彼の命を守って下さるのです。人生の嵐も救いの岩なる神に身を寄せれば安心です。自分の力ではなく、主により頼みましょう。

[水]「私の家は確かに立つ」ためには「神と共にある」こと、子供にも孫にも信仰を継承することです。そのためには、私達に与えられた「永遠の契約」である主の救いを家庭で高く掲げることです。隠れクリスチャンではなく、日々主を証しよう！

[木]当時の人口調査は国の力を誇示するためでしたから、主は怒られました。人の数の力ではなく、神の力により頼むことです。教会の働きも人数によるものではありません。主を礼拝し、人々の救いのために祈るなら、その祈りは答えられます。

[金]列王記は上・下に分かれています。元々はサムエル記に続き、イスラエル王国(ダビデーバビロン捕囚)の歴史が記されています。罪の結果は、家庭崩壊・王国崩壊を招きました。キリストという衣を着てこそ、渇いた心も暖まり、罪から解放されます。

[土]ソロモンはギボン(エルサレムの聖所)で油注がれ、王になりました。それに比べて、アドニアは食卓で王になろうとしました。私達は大切なことをどこで決めますか。教会から離れた所でなく、教会の中で、礼拝や祈りが捧げられている所で決めましょう。



	聖書	問題	答え
日	サムエル下 20:1-26	どんな女が町から呼びましたか。	
月	21:1-22	神はこの国の何に答えられましたか。	
火	22:1-51	私のどんな神をあがめるべきですか。	
水	23:1-39	神と共にあって、私の家はどうなりますか。	
木	24:1-25	主の何は大きいですか	
金	列王記上 1:1-27	ダビデは衣を何枚着せられてもどうしませんでしたか。	
土	1:28-53	私の命を苦しみからどうして下さった主は生きておられますか。	
		<b>感想と祈りの課題</b>	